

田んぼダムだより ~第4号~

残暑厳しい日が続いていますが、朝夕は涼しくなり、秋の気配を感じられるようになりましたね。稲刈りに向け、慌ただしく準備されていると思います。

農家の皆さまにご協力いただいている「田んぼダム」については、今年度も引き続き、実証実験を行っていますので、今年度の取り組み状況を紹介させていただきます。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜＜令和4年度の動き＞＞

- ・4月下旬～8月下旬…モデル地区内における地元説明会（普及拡大）
- ・6月9日…田んぼジュニアハイスクール（南稜高校との連携）
- ・6月28日…第4回田んぼダム効果等検証委員会（観測方法の協議、農家との意見交換）
- ・9月2日～6日…スマート田んぼダム一斉操作



◆田んぼジュニアハイスクールを開催しました！！

6月9日、南稜高校にて「田んぼジュニアハイスクール」を行いました。南稜高校とは昨年度から様々な面で連携して、田んぼダムに取り組んでおり、高校の実習水田においても実証実験に取り組んでいます。

このイベントでは、あさぎり中学校（2年生160名）の生徒も参加し、南稜高校生により、流域治水の必要性や田んぼダムの説明が行われたほか、スマート農業（アシスト田植え機）の実演が行われました。

参加された学生に対し、知事からは、「田んぼダムを人吉球磨地域のみならず、県内全域に広げる伝道師になってほしい」との熱いメッセージが送られました。



知事ビデオメッセージ



南稜高校生による
田んぼダムの説明



スマート農業の実演
(アシスト田植え機)



田植え体験

◆他県と意見交換を実施しました！

田んぼダムは、熊本県では初めての取り組みですが、全国的には、先進的に取り組んでいる県や市町村があります。

そこで、今後の普及・拡大に向けた参考とするために本県職員が先進地に伺い、意見交換を実施しました。

意見交換では、「普及・拡大の推進方法」や「農家の方が取り組み始めたきっかけ」等について活発な議論が交わされました。

頂いた意見につきましては、今後の進め方の参考にして参ります。



新潟県



栃木県

◆令和4年度の取り組みを紹介します！

昨年に引き続き、今年度も実証実験に取り組んでいますので、その内容について紹介させていただきます。

【令和4年度の取り組み】

- ・ 畦畔の痩せや排水柵の老朽化等の課題に対し、観測を行う水田で畦畔の補強や柵の入替を行い、効果を検証しています。
- ・ 水田の地下浸透効果を検証するため、南稜高校の実証水田に浸透柵を設置し、確認を行っています。
- ・ 農家の方との意見交換を実施し、今後の展開方法を議論しました。
- ・ 昨年度から引き続き、水稻生育調査も行っています。



南稜高校の実証水田



地下浸透柵



生育調査の様子



農家の方との意見交換

◆今後のスケジュール（予定）

- ・ 9月下旬…第5回田んぼダム効果等検証委員会（観測結果報告）
- ・ 10月～2月…効果のとりまとめ、普及拡大方法の検討
- ・ 11月下旬…第6回田んぼダム効果等検証委員会（効果の評価）
- ・ 2月下旬…第7回田んぼダム効果等検証委員会（とりまとめ）
- ・ 1月～3月…田んぼダムの取り組みを牽引する人材の育成

